



## 笑顔あふれる泉大津市!!

笑顔でこどもがのびのび遊べる広場を！

笑顔で挨拶が飛び交う町を！

笑顔でみんなが助け合う町を！

4月22日午後11時30分  
1393票を頂き当選が決まりました。  
写真はそのときの「歓喜の万歳！」です。



## 当選御禮

お陰様

この度、泉大津市議会議員選挙（四月二十二日）におきまして、皆さまの温かいご支援のもと、お陰様で当選させていただきました。本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

今、改めて振り返りますと、無所属の新人で、何もかも初めての経験ゆえ、失敗の連続だったと思います。にもかかわらず『当選』させていただきました。ご支援下さいました皆さま一人一人のご尽力のおかげと、感謝・感謝・感謝でございます。

とにもかくにも、まだスタート台に立っただけで、これからが本当の意味で皆さまのお役にたつべく真価を問われる時です。そのために人一倍の努力を惜しむことなく、まじめに真剣にそして誠実に取り組んでまいりますので、更なるご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

林 哲二



## 慈龍寺住職 北村雅道氏の応援演説

林哲二の希望により、選挙期間中の平成19年4月20日午後7時より行いました、松之浜長寿園での林哲二個人演説会にて、応援弁士をお引き受け下さいました松之浜町2丁目のお寺「慈龍寺」ご住職でいらしゃる北村雅道氏の応援演説を掲載させていただきます。

(内容は原文のままでございます。)

### 日本人の精神文化

今晚は、松之浜の慈龍寺で御座います。日頃は皆様に大変お世話に成り有難う御座います。この度松之浜町から、新人林哲二候補が立候補されました。私も及ばずながらエールを送りたいと思います。私は松之浜町には籍がありませんが、後援会の会報を拝見しまして、僧侶の立場から賛同出来る所が多く有りますので、応援のお話をさせて戴きます。

『笑顔』で人に接する事を『和顔施(わがんせ)』と言いまし、誰でも気軽に実行出来る『布施』のひとつです。しかし、実際には誰に対しても『笑顔』で接する事は、容易な事ではないですね。『笑顔でみんなが助け合う町を!』という林候補のスローガンは、20年以降の日本の『有るべき姿』を、端的に示していると思います。

本来日本人は『人の絆を大切にする』『和を持って尊(たつと)し』と為す』という精神を大切にしてお国柄だったと思います。しかし、戦後何でもアメリカの考え方が正しいと、『心』よりは『物質』を優先する社会に成りました。戦後六十年が過ぎ、日本の『精神文化』が世界で評価され、

外国人が多く日本文化を学びに来ています。そんな中、当の日本人は、アメリカの影響を受け、人間を『物』の様に扱い、平気で親が子供を殺し、子供が親を殺し、クラスメートを死に追いやる、痛ましい世の中に成ってしまいました。

『物』は、まだ『換(かえ)』がききますが、人の命は『換(かえ)』がききません。お互いに『辛抱(しんぼう)』が出来なく成って居ます。『辛抱』が、全く出来ない心の状態を、仏教の教えでは『畜生』と言います。年配の方から、『あの人は、人間の皮をかぶったケダ物だ!』という言葉を聞いた事が有ります。そんな人間が段々増えて来ている事は残念です。先日ニュースで、母親が自分の子供を殺す為に、自宅に三人を放置し、一ヶ月間恋人のマンションで生活し、子供達はもう死んでいるだろうと、自宅へ帰ってみたら、まだ生きていた。子供達は、母親の姿を見て喜んで抱き着きに来た、母親は、あわてて玄関のドアを閉めた。こんな痛ましいニュースが、毎日の様に報じられています。子供を産んでも、本当の親には成れません。家族や地域が本気に成って、人間の『心の有り方』を教育し直す

時期が来ています。そのためには、『本来の日本の精神文化』を見直す必要があると思います。

林候補は、幼いころから剣道を習い、日本の精神文化である『武士道』を、学ばれています。武士道の精神は、『恩有る人のためには、喜んで自分の命を投げ出す事が出来る。』と言つものです。

林候補はこの精神を持って、数々にボランティア活動に励んで来られたと思います。本場の『改革』は『人と人の絆を大切にす心』を取り戻す事・『自然の恵みを知り、感謝し公平に分ける心』を取り戻す事だと思えます。

これからの日本の課題・地球の課題に向かつて、林候補は実践しようと燃えておられます。理想の実現も、足元から固めなければ成りません。まず松之浜町が住み易く成る為に、林さんに働いて戴き、その後泉大津市全体が良く成っていく順序で良いと思います。林さんに当選して戴いてこそ実現が可能に成ります。泉大津市の為に林哲二さんを市会に送り出しましょう。よろしくお願い致します。ご静聴、有り難う御座いました。